

医療法人 実風会

新生病院

医師募集概要



理念・方針

理念1．患者様を尊重し、良質で安全な医療を提供致します

理念2．他の医療・保健機関との連携をはかり、地域医療に貢献するよう努力します

理念3．健全な病院経営を行います

理念4．職員がそれぞれの分野でプロフェッショナルとして成長し、喜びを得られる病院を口指します



当院の精神科治療の 理念について

1. 「精神症状から解放する。」

標準的な精神、薬物療法、身体療法を行い、主要な精神症状の改善を図る。
個人にあわせたオーダーメイドの薬物療法、精神療法、作業療法を行う。

2. 「体をつくる。」

精神疾患があっても標準的な身体疾患の治療を受けられるようにする。
(感覚器、歯科の治療も含む)

薬の副作用から自分を守り、生活習慣病にならないよう栄養管理を行う。
また適切な運動、スポーツで健全な身体状態を維持する。

3. 「精神疾患と生きる能力を作る。」

心理教育から様々な知識(病気の理解、薬の理解、社会資源の理解)を身につける。周囲の患者さんも自分と同様の症状や悩みがあり、またその対策の方法があることも集団精神療法 患者ミーティングなどを通して学ぶ。

4. 「社会生活をする能力を作る。」

入院生活やデイケアの参加などを通して人と人との交流を深め、良い仲間をつくる。患者さんの家族が本人を支えることができるように、家族会を通じて家族の方も精神障害に対する理解を深め、患者さんにとって良い家族となる努力をしてもらう。就労への意欲や生活能力を高め、社会性が得られるように社会生活技能訓練(SST)、デイケア、就労支援などを通して実現できるよう努力する。



病院説明

一人一人に合わせたオーダーメイド治療

～ 急性期型でありながら、質の高い精神科医療を提供 ～

統合失調症

- 治療抵抗性患者に対するクロザリル・ECT による治療
- 退院後の生活を見据えた入院中の教育・治療プログラム
- 敷地内グループホームを利用した地域移行の取り組み

気分障害

- ストレスケアと高齢者うつ病への専門治療
- 入院中の教育・治療プログラム
- 重症うつ病患者へのECT

認知症

- 急増する認知症への専門治療
- 行動制限をしない認知症治療病棟での入院治療
- 精神科病院が運営する認知症疾患医療センターとしての活動
(認知症だけでなく、高齢者の精神疾患に対しても適切な治療ができる)

診断精度を上げる機器活用とチーム体制

他職種によるカンファレンスや機器の活用により診断精度の向上に取り組んでいます。



CT



光トポグラフィー検査



チームカンファレンス

精神科治療について

- 精神療法
- 薬物療法
- 疾患教育・精神科リハビリテーション
- 身体療法（精神科電気けいれん療法(ECT)）

ECTによる治療について

年々ニーズと共に実施数も増えているECTによる治療ですが当院では週 4 日午後から1日約6～7件ほど実施します。処置には麻酔と筋弛緩剤を使います。麻酔については非常勤医を依頼することもなく、当院の先生方で対応しています。（現在は、院長（救急科出身）と麻酔科医から転科した先生の 2 名で対応しており、非常勤麻酔科医をお願いしていません）適応については、カンファレンスで複数の意見をとり入れて判断します。



約600施設との連携で迅速・適切な対応実現



総合病院及び精神科病院、精神科以外の専門医療機関との密な連携体制も整えています。
その他医療機関以外の福祉事業所・行政機関との高い連携力も備えています。

法人施設展開の充実

ひまわりホーム

地域移行のための敷地内グループホーム。
1年間の入居期間で地域での単身生活に必要な様々な訓練を行う。

実風会心療クリニック

通常の精神科通院医療に加え、訪問看護・
ショートケアなどの病院機能の一部を行う
多機能型精神科診療所を運営している。



沿革

昭和35年6月	医療法人実風会 設立 宮軒富夫が理事へ就任
昭和36年3月	神戸市中央区神仙寺通（旧・葺合区神仙寺通）に「佐野サナトリウム」設立 宮軒富夫が院長へ就任
昭和51年	宮軒富夫が医療法人実風会の理事長へ就任
平成16年2月	神戸市西区伊川谷町へ移転名称を佐野サナトリウムから「新生病院」へ改名付帯 施設として、福祉ホームB型「ひまわり」を開設
平成23年8月	宮軒将が医療法人実風会の理事長・病院院長へ就任
平成30年10月	神戸市垂水区歌敷山に「実風会心療クリニック」を開設
令和3年4月	精神科一般病棟の認可病床が60床から48床に
令和3年5月	精神科救急入院料1（精神科救急病棟48床）認可

理事長挨拶



救急医療を通して感じた、精神科医療の課題

私は平成4年に川崎医科大学を卒業後、約10年にわたり救急医として急病者への救命救急処置、集中治療に携わっていました。精神科へ転科する際は「なぜ救急から精神科に？」と聞かれることもありましたが、実は救急と精神科は関係の深いものでした。多発外傷や熱傷、急性薬物中毒は、精神疾患を持つ方によるものが少なくありません。また当時、精神科救急はまだ一般的ではなかったことから、精神科の救急も一般救急に搬送されてきていました。質の高い精神科医療がきちんと提供されていれば、今、目の前にいる患者さんがここに来ることはなかったのではないかと？そのように救急医療を通して、精神科医療への問題意識を強く持つようになったのです。

そして考えた末に、家業である精神科病院に入りました。以降は精神科医療に従事し、約20年になります。

地域の精神科救急を担う存在

本院は精神障害のある方々が安心して地域で生活できるように、「病気とつきあい、自分の人生を生きる」ことができるように、お手伝いをさせていただいています。

多くの患者さんを診ていますが、患者さんからすれば本院はonly oneの存在です。ここにしか頼れない、という思いで、助けを求めて来られる患者さんがいらっしゃいます。

ですから患者さんファーストで、退院後も含めて患者さんやご家族との関係を大切にしています。患者さんのために、という思いが非常に強い病院だと思います。

病院の機能としては、精神科救急病棟、精神科急性期治療病棟、認知症疾患治療病棟を持ち、地域の精神科救急医療を担う存在です。

急性期病院ですので、患者さんには日々、目まぐるしい変化があります。ですが長期間ずっと入院されるのではなく、きちんとよくなって退院していかれます。そうした急性期の患者さんに寄り添って変化を目の当たりにしたいという先生には、大きなやりがいを感じていただける環境です。患者層は主に青年から高齢者の方で、上品で落ち着いた方が多く、急性期の精神科医療でありながら穏やかな雰囲気でもあります。



主な治療については、電気系療法であるニューロモデュレーション治療の件数は西日本でも有数の実績を誇ります。

先端的なクロザリル治療、チーム医療によって患者さんを支える体制など、患者さんを入院期間内でしっかりと治療し、再入院が少ない状態を作っています。

医師の数が多く、一人当たりの担当患者数が少ないことから、患者さんを丁寧診て、十分に向き合っていただくことができます。

理事長挨拶 2

積極的に学び、それを応援する職場風土

現在、常勤医は11名です。資格を取ろうという意志を持って入職され、資格取得後もそのまま在籍されている先生が多いことから、積極的に学ぶ雰囲気とそれを応援する雰囲気が醸成されています。先生同士で症例について話したり、一緒に勉強したりする姿もよく見られます。実際に、1年いれば専門医・指定医が取れるだけの症例数があります。



資格取得はとても大切ですね。私も全てのレポートに目を通しますし、毎月の症例検討会なども開催しています。定期的に主要な精神科関連の学会で発表されている先生方も多くいらっしゃいます。皆さんの年齢が近いことも、先生方のよい関係性につながっているかもしれません。私が56歳で、一番の年長者です。

安心して働き続けてもらうために

安心して働き続けてもらうために、病院としてのさまざまな取り組みも行っています。例えば、連携を密に行うための毎朝、毎夕のカンファレンス。指定医のない先生には必ず最初は経験豊富な医師がついて、よりしっかりと相談できる体制を取っています。

働き方については、帰宅時間も、休みを取るのも、どのように働くかは先生方の裁量に任せています。医師の半数は女性で、子育て中の方もいらっしゃいます。当直は常勤の先生で十分に間に合っているので、できない方は免除しています。

尚、小さな病院ですので、当直時は回診もほとんどありません。救急搬送は日中に来ることが多いので、時間外は週に2、3人程度となっています。

精神科特例を上回る、 手厚い医療体制を構築する

本院では、将来的に今ある認知症病棟を急性期病棟に変更し、より精神科救急に重点を置いた病院にしていきたいと考えています。

精神科病院の人員配置基準は、いわゆる精神科特例で一般の医療に比べて医師は3分の1、看護師は4分の3でよいことになっています。



しかしながら短期間で退院し、かつ再入院しないよう丁寧に診たいと思うと、患者一人に対応するスタッフの数をこの基準以上に手厚くする必要があります。積極的に医師を募集しています。

共に働きたい医師像は、ただ一つです。
精神科に携わる理由や期待、目的意識を持って、一生懸命やっていきたいという強い思いを持つ先生です。もともとの科目は問いません。専門性の有無よりも、目の前の患者さんを「何とかしたい」と真摯に取り組める先生が必要なのです。

本院でぜひ、先生のその思いを実現していただきたいと思います。



医療法人 実風会 新生病院
理事長・院長
宮軒 将（みやのき しょう）

1992 年 3 月	川崎医科大学		
1992 年 5 月	川崎医科大学付属病院	救急部	勤務
1994 年 4 月	聖路加国際病院	救急部	勤務
1999 年 4 月	川崎医科大学付属病院	救急部	勤務
2001 年 6 月	神戸大学医学部付属病院	精神神経科	勤務
2003 年 7 月	医療法人実風会新生病院	勤務	
2011 年 8 月	医療法人実風会新生病院	理事長・院長	

募集要項・福利厚生・各種手当

来年度、認知症疾患治療病棟の精神科急性期治療病棟に転換を検討中のため
人員募集しています。

専門科目や経歴問わず、目の前の患者さんを「何とかしたい」と
真摯に取り組める先生からの応募をお待ちしています。

募集科目	精神科・心療内科・科目不問（精神科へ転科希望医師歓迎）
募集背景・理由	今年度：2024年3月末で2名退職予定のため 来年度：認知症疾患治療病棟について精神科急性期治療病棟に転換を検討中のため
求めるドクター像	今年度：50代半ばまでの精神科医師(精神保健指定医の有無は問わず)
募集科目の常勤・非常勤 医師数	常勤11名(50代4名・40代5名・30代2名) 非常勤4名 ※精神保健指定医9名、精神保健指定医取得に向け研鑽中2名
募集人数	今年度2名、来年度以降3名 ※最終的に常勤14名体制が目標
必要経験	精神科診療全般に対応可能な方 ※精神科未経験(転科希望医師)も歓迎
必要資格	なし※精神保健指定医、認知症学会、老年精神医学会の専門医取得可能
役職	なし
勤務開始時期	随時
仕事内容	精神科外来：3コマ程度/週、15～20名程度/コマ ※5診体制 病棟管理：15床程度、措置入院あり、指定医希望を優先とし他は順番に対応しています。
想定年収	1250万円～1700万円(25年目)（指定医の場合・当直手当別途支給） 非指定医の場合：1150万円(5年目)～1394万円(20年目) ※年俸には20時間のみなし残業手当を含む ※年俸詳細はご経験、スキル、資格等によって決定
通勤交通費支給の有無	有り 実費支給、上限10万/月まで、特急・高速代支給可能。(無料駐車場あり)
勤務日数	週4.5日～5日
勤務時間（平日）	8時30分～17時30分
勤務時間（土曜）	8時30分～12時30分 ※休み相談可能
勤務時間（日曜・祝日）	休み



当直回数	1回～4回(ご理由によっては免除検討可能、例：子育て等)
当直内容	救急患者の受入 入院中の行動制限患者に対する診察等
平日当直時間	17時30分～翌8時30分
当直がある場合の手当	別途支給平日40,000円／回、土日50,000円／回
当直 体制	1名体制
オンコール業務有無	有り、非指定医が当直の場合、輪番により指定医がオンコール対応
休暇制度（有給休暇）	
雇用期間	期間の定めなし
休暇制度（年末年始休暇）	12/30～1/3
休暇制度（夏季休暇）	夏季休暇3日
学会参加制度	年に3回まで。交通費、宿泊費、学会参加費支給有り、出張扱い。
退職金制度の有無	有り、勤続3年以上が対象
赴任手当の有無	有り
住宅手当の有無	無し
社宅、寮提供の有無	無し
社会保険	健康保険、労災保険、雇用保険、厚生年金、医師賠償責任保険(病院として加入)
定年制度	65歳 ※以降は嘱託勤務で条件面変わらず継続雇用可能、
関連医局	神戸大学
診療実績	認知症3割・鬱病3割・統合性失調症3割・依存・思春期若干・摂食障害等 ※電気けいれん療法実施 1ヶ月の新規入院60～70名程度 オンコールでの呼び出し全体で月1件程度
その他	精神保健指定医取得率100%(取得までの期間2年程度)

地域について

異国情緒感じる港町



人口約150万人、日本で7番目に人口の多い都市ながらも中心部から直径5km圏内には美しい海と雄大な山と自然も感じるコンパクトシティです。昔から港町として栄えてきたため、異国文化を感じられる都市でもあります。



レンガ造りの館、風見鶏の館



南京町



旧居留地

安定した気候と利便性が高く住みやすい街

一年を通して気候も安定しており過ごしやすさに定評があります。また大阪や京都といった関西エリアへのアクセスもしやすい利便性の高さも人気の一つでしょう。

言わずと知れたグルメの街

神戸といえば神戸牛という市の名前がついた高級和牛が有名です。

さらに異国文化の歴史で育まれた中華や、ご当地B級グルメ「ぼっかけ焼きそば」など独特な食文化も楽しく仕上げるデザートスイーツまで飽きることはありません。



子育て、勉強環境も充実

妊娠、出産への支援はもちろん乳幼児期から学齢期まで市をあげて子育て支援を充実させています。

待機児童対策・病児保育支援やファミリーサポートなど子育てを通して親子を幅広く柔軟にサポートする体制が整っています。

さらに親子で遊べるスポットも多いため、休日の外出先には困らないでしょう。



神戸どうぶつ王国や神戸青少年科学館、神戸アンパンマンこどもミュージアム＆モールなどがあります。

また、王子動物園や須磨水族館も、子どもを含めた多くの方に人気のスポットです。

有名進学校が多い兵庫県



西日本最難関 偏差値78
灘中・灘高



京大進学率の高い関西御三家
甲陽学院中・高



関西最難関女子校
神戸女学院中・高

採用までの流れ

当院への採用応募をご希望の方は
下記のエントリーフローに沿って
応募をお願いいたします。

エントリー

株式会社Rakusai 担当 添島 まで

TEL. 070-1387-5461

Mail. soejima@rakusai.jp

アンケート

履歴書・簡単なアンケートをお送りいただきます。

面接

来院いただき、
面接・院内の見学などをしていただきます。

採用

後日、採用のご連絡をいたします。

概要・アクセス

当院の特徴

理事長挨拶

病院説明

募集要項・福利厚生

地域について

採用フロー・概要・アクセス

基本情報

法人名	医療法人社団 実風会
病院名	新生病院
代表者	理事長・病院長 宮軒 将
所在地	〒651-2124 神戸市西区伊川谷町 潤和字横尾238-475
連絡先	代表電話 078-919-1755 代表FAX 078-919-1723
敷地面積	9,000㎡
建築面積	2,155.29㎡
延床面積	7,394.17㎡

施設基準

病床数	計168床 ・認知症疾患治療病棟 60床 ・精神科急性期治療病棟 60床 ・精神科救急病棟 48床
認定基準	・精神救急入院料1 ・精神科急性期治療病棟1 ・認知症疾患治療病棟1 ・看護補助加算2 50対1 ・入院時食事療養1 ・医療保護入院等診療料 ・精神科応急入院施設管理加算 ・精神科身体合併症管理加算 ・精神科救急搬送患者地域連携受入加算 ・精神科作業療法 ・精神科ショートケア（大規模なもの） ・精神科デイケア（大規模なもの） ・コンピューター断層撮影（CT撮影） ・精神科急性期医師配置加算1 ・データ提出加算1及び3
認定施設	卒後臨床研修における協力型臨床研修病院 日本精神神経学会専門医制度研修施設 日本認知症学会専門医制度研修施設 日本老年精神医学会専門医制度研修施設

アクセス

第二神明道路の玉津インターチェンジから車で5分程度



ＪＲ西日本「明石駅」・神戸市営地下鉄「西神中央駅」からは病院専用シャトルバスが出ております。



＜お問い合わせ＞

株式会社Rakusai

添島

TEL. 070-1387-5461

Mail. soejima@rakusai.jp